

なめがた会議宣言

今回、私たちは、「悠久なる忸湖の國の持続可能な地域づくり～千年つづく未来創造～」のテーマの下、「常陸国風土記」にも記されている長い歴史と豊かな水辺を有する、ここ行方市で、第 26 回の環境自治体会議に集いました。また、同時に茨城県において、「第 17 回世界湖沼会議いばらき霞ヶ浦 2018」が開催されているところであり、私たちが目指す環境政策の実現に向けて、幅広い知識を得ることができました。

なめがた会議では、1000 年を超える長い歴史が築いた当地域の考察や、水辺周辺で継続して行われている市民活動や産業活動等の検証を通じて、暮らしや経済の基盤としての水を守り、活かすことが、持続可能な地域づくりの鍵であることを共有しました。

そこで私たちは、国際社会の共通目標である SDGs の達成に向けて、水に関わる課題解決と他の地域課題の同時解決を図るため、次の 4 つの取り組みを、市民、事業者、行政が、より連携を強固にし、進めていきます。

- 1 **【水辺の保全と生物多様性保護】** 霞ヶ浦・北浦に代表される湖沼や河川などの保全活動を通じ、“生き物の賑わいとつながり”、すなわち生物多様性が確保された健やかな水辺環境を育みます。
- 2 **【水質改善と経済活性化】** 湖沼や河川の水質改善や自然環境保全の成果を、農畜水産物・加工品のブランド化や観光振興、これらを通じた雇用機会の創出など、地域経済の活性化につなげます。
- 3 **【水供給と防災】** 災害や有害化学物質等から水を守る対策を強化するとともに、災害時においても水利用を可能とする対策を市民と共に作り上げ、安全・安心な暮らしを目指します。
- 4 **【水に係る教育とパートナーシップ】** 上記の取り組みを下支えするため、多様な主体の参画のもと ESD（持続可能な開発のための教育）に取り組み、地域の課題から世界を学び、主体的に考え、課題解決にあたる人づくりを進めます。

私たちは、以上の取り組みをそれぞれの地域特性に合わせて実行することで、持続可能な地域づくりを進め、地域から SDGs の達成に向けた動きを加速することをここに宣言します。

平成 30 年 10 月 17 日

第 26 回環境自治体会議なめがた会議参加者一同